

ハイキング部だより

第237回

令和5年(2023年)12月2日(土) ～ 年の瀬の京都を歩く

コース: 四条烏丸駅～六角堂～本能寺～建仁寺～新京極～錦市場～
四条烏丸駅(阪急烏丸駅)(約7キロ)

参加者 18名

12月2日(土)晴、第237回ハイキング実施、参加者18名。朝は寒かった天候も風もなく小春日和の心地よいハイキング日和となりました。

10時四条烏丸駅をスタート、錦通、蛸薬師通と進み六角堂へ、本堂が六角形なので六角堂の通称で知られていますが寺号は頂法寺です。華道池坊の発祥地としても知られています。池坊の名は聖徳太子が沐浴した池に由来しています。すぐ隣に立派な池坊会館がありました。三条通、姉小路通から御池通を東に歩き京都市役所の前を入り四方をビルに囲まれたところに本能寺がありました。本能寺は「本能寺の変」を含め4回の火災で焼失、移転もあって7回も再建され現在の本堂は1928年に建てられました。ここで写真を1枚。このあと三条大橋を渡って鴨川沿いを四条まで歩きました。水がきれいで鴨やゴイサギがいました。

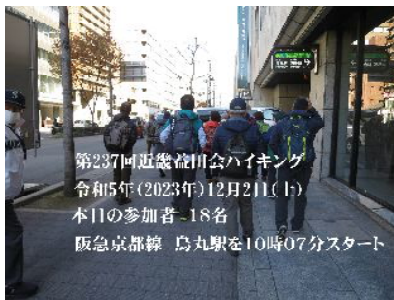
地上に上がって南座のまえを歩いて祇園の中を通り建仁寺へ、建仁寺は京都最初の禅寺で俵屋宗達の風神雷神図屏風(国宝)が有名です。法堂天井には畳108枚分の大双竜図が描かれています。建仁寺をあとにして四条大橋を渡り鴨川に下りたところで食事にしました。食事のあと錦市場に向かい入口のところで解散しました。錦市場は買ったものを食べながら歩く人、店に立ち寄る人、ただ歩く人(私)などで一杯でした。



本能寺本堂前に於いて



本能寺本堂前に於いて



京都・烏丸駅を出発



頂法寺(六角堂)山門



六角堂本堂



本能寺総門



本能寺本堂



花見小路通り



建仁寺西門



建仁寺本堂



鴨川河川敷で昼食



新京極商店街前で解散



錦市場商店街



錦天満宮

第237回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 年の瀬の京都を歩く ～

日 時:令和5年12月2日(土) 10時 地下鉄「四条烏丸駅」集合

コース:四条烏丸駅～六角堂～本能寺～建仁寺～新京極～錦市場～
四条烏丸駅(阪急烏丸駅)(約7キロ)

今回は年の瀬を迎えた「京都の錦市場」を訪れます。市場としての起こりは古く平安時代の頃すでにこの辺りに市が立っていたと推測されます。1615年江戸幕府が京都に公認した上の店(たな)、錦の店、六条の店の三店魚問屋の一つが錦市場でした。この地が良質の地下水に恵まれており冷たい地下水が魚鳥の保存に適していました。位置的に御所への納入が便利であったことも錦市場の発展につながりました。

六角堂は、本堂の建築様式が六角宝形造であることから六角堂と呼ばれています。聖徳太子ゆかりの寺で、境内に真ん中がくぼんだ「へそ石」と呼ばれる石がありその位置が京の中心と言われています。建仁寺は、建仁2年(1202年)栄西禅師によって建立された京都最初の禅寺です。俵屋宗達作の風神雷神図?風(国宝)が有名で、法堂天井には畳108枚分の大双龍図が描かれています。



六角堂



本能寺



建仁寺



錦市場